

市政記者各位

2024 年 8 月 22 日
福岡市博物館

特別展「おおとうろうえ 大灯籠絵」を開催します

是非ご取材いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

大灯籠絵とは…

毎年 8 月 24 日から 3 日間、博多区大博町で
おおはまながれかんじょう
「大浜流灌頂」が行われます。多くの人で賑わ
うこの祭りは、博多湾の海難や流行病で亡くなっ
はやりやまい
た人々を供養するため江戸時代中ごろに始まった
とされています。祭りの場には畳 5 畳ほどの大き
おおとうろう
さのある「大灯籠」が灯され、その迫力は人々の
注目を集めます。

福岡市内では、夏祭りに「大灯籠」を飾ると
ころがあります。「大灯籠」には、武者絵や説話の
一場面などが描かれており、これを「大灯籠絵」
と呼びます。近年、調査を行った結果、市内に
60 点あまりの「大灯籠絵」が現存することが分
かりました。現存する最古かつ最大のものは、明
治時代中ごろ、今から 120～30 年前に制作され
たと考えられます。

圧巻！巨大「大灯籠絵」一挙公開！

福岡市博物館では 9 月 13 日（金）より特別展
「大灯籠絵」を開催します。博多湾岸の町々の夏
の夜を彩った「大灯籠絵」。「大浜流灌頂」のほ
かに、現在も、箱崎・千代・普賢堂町（上呉服
町）・唐人町・黒門で行われる夏祭りで飾られて
います。本展では、これら現役のものはもちろ
ん、市内に現存する「大灯籠絵」の全てを紹介し
たします。他にはない迫力の大画面を通して、地
域で守り伝えられてきた祭りの文化の豊かさをお伝
えます。 ※一部は作品保護のため写真で公開



▲福岡県指定有形民俗文化財「大浜流灌頂大燈籠」（2023 年撮影）



▲大灯籠絵「大徳寺焼香之図」／大浜流灌頂継承保存会
市内最古・最大の「大灯籠絵」 縦 290 cm × 横 543 cm
明治時代中頃に福岡・博多を中心に活躍した絵師一得斎高次の作
120～130 年くらい前に制作されたと考えられる。既に「失われ
た」と思われていたが、近年の調査で「再発見」された。



▲旧大浜公民館での調査で上の「大灯籠絵」が見つかった時のようす

開催概要 会 期：2024 年 9 月 13 日（金）～11 月 4 日（月・振休）

場 所：福岡市博物館 特別展示室 時 間：9 時 30 分～17 時 30 分（入館は 17 時まで）

観覧料：一般 1,200 円（1,000 円）、高大生 800 円（600 円）、中学生以下無料（ ）内は 20 人以上の団体料金



▲大灯籠絵「伊賀越敵討之図」／宮崎宮 縦 180 cm×横 375 cm 有名な仇討ち事件「鍵屋の辻の決闘」を描く

子どもたちと制作した「大灯籠絵」も展示

展覧会に先立ち、5月、館内でプレイベント「灯籠をつくろう」を実施しました。参加者が制作した小型灯籠を会場で展示します。また、7～8月には箱崎・大浜・当仁の3公民館で地域の子もたちと新たな「大灯籠絵」の制作を行いました。絵柄は、それぞれの地域にちなんだものです。制作された「大灯籠絵」も会場で展示します。



▲箱崎公民館 上の「大灯籠絵」を下絵にして制作



▲大浜公民館 大浜の伝統的な幕の図柄「あやめ」の「大灯籠絵」を制作



▲当仁公民館 唐人町のシンボルを組み合わせ制作

【参考】これから見られる「大灯籠」

- ◎8/24～25 唐人町・八兵衛地藏尊夏祭り（中央区唐人町 1-8-53 成道寺境内）
- ◎8/24～26 大浜流灌頂（博多区大博町）

■お問い合わせ先 福岡市博物館 学芸課…河口・杉山 TEL 092-845-5011 FAX 092-845-5019